

## クリーンセンター滋賀の搬入実績について

## 1. 経年変化

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
搬入量(t)	25,195	20,234	35,275	50,251	30,161	32,309	62,380
搬入車数(台)	2,606	2,865	4,669	7,919	5,478	5,808	9,750

1月末

## 2. 平成 25 年度の搬入状況

- ・搬入車両台数延べ 5,808 台、32,309 t の産業廃棄物等の埋立処分を行った。  
平成 25 年度も、第 2 - 2 期拡張工事のために搬入制限を行った。  
年間処分量については、平成 24 年度実績と比較して 2,148 t (7.1%) 増加した。
- ・品目別では、平成 24 年度と比べ廃石膏ボード、ばいじんの搬入が増加しており、廃棄物以外の残土は減少している。  
搬入量が多いのは混合廃棄物である。

## 3. 平成 26 年度の搬入状況

- ・平成 27 年 1 月末までで、搬入車両台数延べ 9,750 台、62,380 t の産業廃棄物等の埋立処分を行った。
- ・搬入量については、搬入制限の解除などもあり、平成 25 年度の同月末実績と比較して 34,736 t もの大幅な増加になっている。
- ・品目別では、平成 25 年度と比べ混合廃棄物とがれき類の搬入量の増加が顕著であり、もえがら、廃プラスチックおよび石綿含有廃棄物（非飛散性）も増加している。  
一方、廃石膏ボードは横ばい、ばいじんと廃棄物以外の管理を要する残土は減少している。  
搬入量が特に多いのはこれまでと同様に混合廃棄物である。

**混合廃棄物**： 産業廃棄物中間処理業者からの選別・リサイクル後の混合廃棄物、建築物の解体工事等から生じる混合廃棄物や不法投棄廃棄物など  
特定の間処理業者(7社)からの搬入が多い。

**がれき類**： 工作物の解体工事等から生じるコンクリートがら等で、大規模な解体工事による臨時的な搬入があった。

## 参 考

第 1 期の埋立容量	205,800 m <sup>3</sup>	埋立完了
第 2 - 1 期工事確保容量	38,000 m <sup>3</sup>	埋立完了
第 2 - 2 期工事確保容量	428,400 m <sup>3</sup>	埋立中